

第1回 東エリア特別支援学校高等部（仮称） 教育課程検討委員会

日時:令和5年8月21日(月) 14:00~
場所:福岡市役所11階 教育委員会会議室

— 次 第 —

1. 委員紹介

2. 議 事

- | | | |
|----------------------------|-------|-----|
| (1) 教育課程検討委員会設置要綱について | | 資料1 |
| (2) 委員長・副委員長の選出について | | |
| (3) 教育課程検討委員会スケジュール(案)について | | 資料2 |
| (4) 学校概要及び教育課程の編成について | | 資料3 |
| (5) 学校教育目標(案)等について | | 資料4 |
| (6) 各教科の学習内容(案)について | | 資料5 |

3. 連絡事項

- 次回開催日程について
- 次回議事(予定)

東エリア特別支援学校高等部（仮称）教育課程検討委員会設置要綱

（委員会の設置）

第1条 軽度又は中度の知的障がいのある生徒等を対象にして、卒業後に福祉的就労を目指す東エリア特別支援学校高等部（仮称）（以下「新設校」という。）の教育課程等を検討するため、東エリア特別支援学校高等部（仮称）教育課程検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所管事項）

第2条 委員会は前条の目的を達成するため、次の事項を所管する。

- (1) 教育目標に関すること
- (2) 指導する教科等の指導内容に関すること
- (3) 週時制
- (4) その他教育課程に関すること

（委員）

第3条 委員会は、次に掲げる10人以内の委員をもって構成し、教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 企業関係者
- (3) 保護者代表
- (4) 教育関係者
- (5) 教育委員会事務局の職員
- (6) その他教育委員会が必要と認める者

（任期）

第4条 委員の任期は新設校開校までとし、欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選任する。

3 副委員長は、委員長が選任する。

4 委員長は、会務を統括する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときまたは委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

（事務局）

第7条 委員会の事務局は、教育委員会指導部特別支援学校開校準備等担当に置く。

（雑則）

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の設置、運営に関して必要な事項が生じた場合は、委員会で協議のうえ決定する。

附 則

（施行期日）

この要綱は、令和5年8月21日から施行する。

【委員候補者名簿】

区分	氏名	所属・役職名	備考
学識経験者	くらみつ あきこ 倉光 晃子	西南学院大学 准教授	
企業関係者	ほりうち のりたか 堀内 規生	株式会社 カムラック 管理者就労支援員	
	ななみ かずお 那波 和夫	株式会社 障がい者つくし更生会 専務取締役	
	とみなが ゆういち 富永 祐一	株式会社 平栄 障がい者しごと支援センター木の実 副施設長	
保護者代表	しもやま いわこ 下山 いわ子	福岡市手をつなぐ育成会 保護者会	
福祉関係者	くろだ さよこ 黒田 小夜子	福岡市障がい者就労支援センター 所長	
教育関係者	のぐち しんすけ 野口 信介	東福岡特別支援学校 校長	
	あおき あきのり 青木 昭憲	(教育課程ワーキンググループから) 若久特別支援学校 主幹教諭	
	まつもと まなぶ 松本 学	発達教育センター 所長	
教育委員会 事務局	たけはら かずひこ 竹原 一彦	特別支援学校開校準備等担当課長	

教育課程検討委員会スケジュール（案）

項目	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月										
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
教育課程検討委員会									◆ 第1回						◆ 第2回									◆ 第3回						◆ 第4回																				
										学校教育目標の 検討																																								
										各教科等の学習内容の検討																																								
																作業学習で取り組む作業 内容の検討																																		

東エリア特別支援学校高等部（仮称）学校概要及び教育課程の編成について

1 設置目的

- (1) 軽度又は中度の知的障がいのある生徒の将来の自立を促すため、就労支援に特化した教育を行い、卒業後に主に福祉的就労を目指す。
- (2) 東エリアの児童生徒の増加に伴い、東福岡特別支援学校高等部への進学者数の増加を緩和する。

※福祉的就労

一般就労が困難な人に事業所で働きながら就労に必要な知識や能力の向上を図るために支援することで、就労継続支援 A 型、B 型事業所がある。

A 型：雇用契約を結ぶため、最低賃金以上の給与が補償されているが、決められた仕事をこなすだけの力が必要となる。

B 型：雇用契約を結ばないため、比較的自由に勤務することが可能。工賃が支給される。

2 開校予定日

令和7年4月1日

3 入学・転入学対象者

- (1) 1年生

福岡市内に住所を有し、知的障がいのある中学校特別支援学級3年生、特別支援学校中学部3年生及び通常の学級に在籍し志願資格を得た中学3年生で、就労を希望する生徒を対象に入学者選考検査を実施し、合格した者

※ 入学者選考検査日は、清水高等学園と同一日を予定

- (2) 2・3年生（令和6年度のみ選考検査を実施）

東福岡特別支援学校の教室不足の解消や新設校の開校時の2・3年生教室の有効活用のため、以下の者を転入学対象者とする。

- ① 東福岡特別支援学校高等部に在籍する1・2年生で就労を希望する生徒を対象に転入学選考検査を実施し、合格した者
- ② ①の選考検査を実施後、定員に達しない場合は、追加で「博多高等学園」及び「清水高等学園」を除く知的障がいの特別支援学校高等部（4校）に在籍する1・2年生で就労を希望する生徒を対象に転入学選考検査を実施し、合格した者

- (3) 入学・転入学対象者は、いずれも自力通学できる者

4 定員

1学年 60人（6クラス） ※予定

5 設置場所

福岡市東区城浜団地1番39

6 施設内容

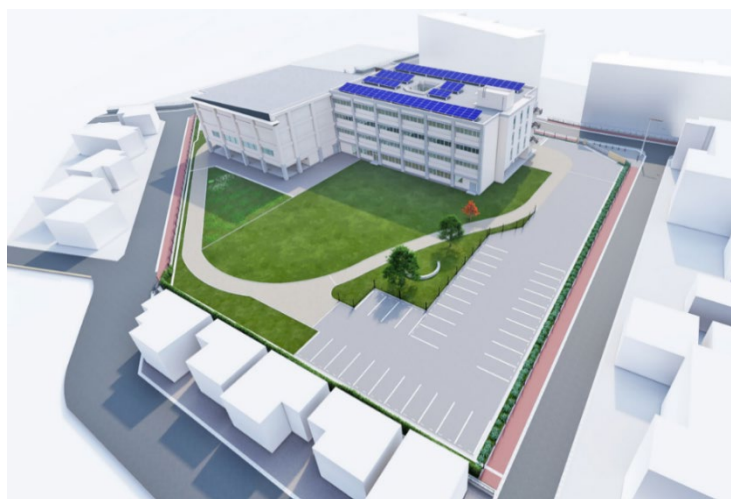
- ・敷地面積:約 10,500 m²
- ・建物構造:校舎棟※講堂兼体育館棟を含む
鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
- ・階数等:地上4階、18 教室
- ・延床面積:約 7,300 m²

4階	普通教室、パソコン室、多目的室(手工芸等作業学習兼用) 等
3階	普通教室、生活訓練室、職業訓練室、被服室 等
2階	普通教室、視聴覚室、図書室、音楽室、クールダウンスペース(2~4 階) 講堂兼体育館 等
1階	玄関、校長室、事務室、職員室、印刷室、保健室、会議室、放送室、 更衣・休憩室、PTA会議室、調理室、美術室、多目的室(交流スペース兼用) 等
屋外	洗車実習スペース、ジョギングコース、農園 等

7 事業スケジュール

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設関連	建築工事		
開校準備	開校準備・教育課程検討委員会	入学者・転入学者選考検査 学校備品等購入	開校

8 完成予想図



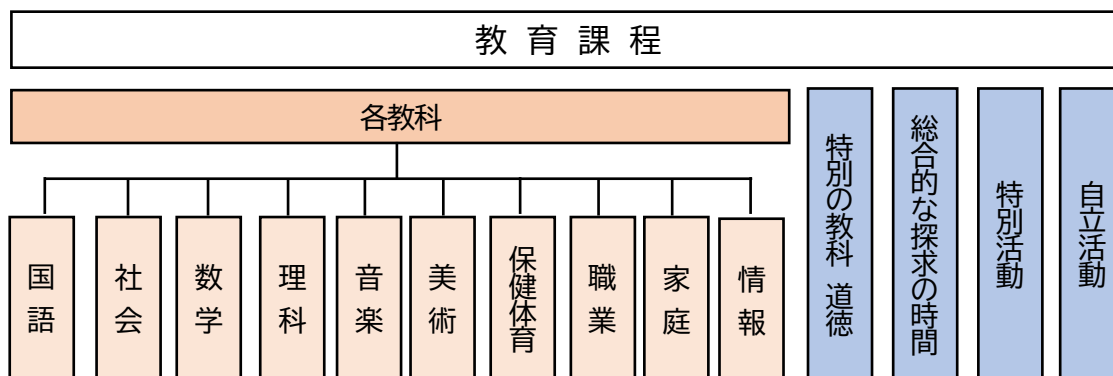
【南東方向からの鳥瞰図】

※ 完成予想図は基本設計段階であり、今後変更の可能性がります。

9 教育課程の編成について

教育課程に関する関係法令や「特別支援学校高等部学習指導要領」に基づき、学校教育目標の達成を図るため、生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮して編成する。

【教育課程の構造】



【留意点】

- 特別支援学校高等部学習指導要領の「第2節 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校」における各教科等の履修等に準じて各教科等を設定する。
- 生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達段階ならびに地域や学校の実態を十分に考慮して、教育課程を編成する。
- 1単位時間は50分とし、週当たりの単位時間数は30時間程度とする。(年間1050時間程度)

特別支援学校高等部学習指導要領【抜粋】

第1章 第2節 第2款 3

(2) 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校における各教科等の履修等

ア(1)各学科に共通する各教科等

- ㊦ 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業及び家庭の各教科、道徳科、総合的な探求の時間、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、全ての生徒に履修させるものとする。
- ㊧ 外国語及び情報の各教科については、生徒や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

東エリア特別支援学校高等部（仮称） 学校教育目標（案）

I 学校教育目標

生徒が地域社会で主体的に生きていくために必要な協同性、自主性の確立及び職業的自立を目指しながら一人一人の可能性を伸ばしていくことで、社会参加、社会貢献し続けることができる人間の育成を図ります。

〈めざす学校像〉

- 安全・安心に過ごすことができる学校
- 個性を尊重し生徒が持つ可能性を最大限に伸ばす学校
- 保護者・地域と協力し合いながら生徒の成長を支援できる学校

〈めざす生徒像〉

- 心身ともに健康な生徒
- 自分の役割に責任をもって取り組める生徒
- 最後まで挑戦する気持ちを持ち続ける生徒

〈めざす教職員像〉

- 教育者として愛情をもって生徒と接する教職員
- 生徒や保護者、地域から信頼される教職員
- 専門性を高めるための向上心を持ち、生徒と共に学び続ける教職員

2 校訓

校訓

健康 自立 協同 継続

健康…心身ともに健康な生徒

自立…できることは自分で行う生徒

協同…みんなで力を合わせて課題に臨むことができる生徒

継続…最後までやり遂げようと取り組む生徒

(参考) 清水高等学園学校教育目標等について

I 学校教育目標

生徒の職業的自立や社会参加を実現するために、必要な力の習得を促すとともに一人一人のもてる力や可能性を最大限に伸ばします。

そのことにより、地域社会で自分らしく生き生きと生活できる人間、社会に貢献できる人間を育成します。

<めざす学校像>

- 生徒の人権や個性を尊重し、安全・安心な学校
- 障がい特性に応じて個性や可能性を伸ばす学校
- 生徒・保護者・教職員が地域とともに成長し続ける学校

<めざす生徒像>

- 心身ともに健康で、感謝や素直な心をもった生徒
- 自ら学び、考え、向上心がある生徒
- 相手を思いやる心もち、誰とでも協力できる生徒

<めざす教職員像>

- 高い人権意識を有し、教育者としての愛情と誇りをもつ教職員
- 専門性を高め、信念をもって指導できる教職員
- 生徒や保護者、地域から信頼される教職員

2 校訓

校訓

健康 自立 協力

健康：心身ともに健康で、礼儀正しく、感謝や素直な心をもった誰からも愛される生徒

自立：職業的自立や社会参加を目指し、自ら学び考えるなど向上心をもって最後までやり遂げる生徒

協力：相手を思いやる心もち、学校や地域、社会に対して意欲的に協力・貢献できる生徒

東エリア特別支援学校高等部（仮称）

授業時数及び学習内容

- | | | | | |
|------|--------|------|------|------|
| ① 国語 | ② 社会 | ③ 数学 | ④ 理科 | ⑤ 音楽 |
| ⑥ 美術 | ⑦ 保健体育 | ⑧ 職業 | ⑨ 家庭 | ⑩ 情報 |

東エリア特別支援学校高等部（仮称）の授業時数及び学習内容について

◎ 清水高等学園の授業時数及び学習内容等に倣う。

（理由）

- ・ 開校の目的が清水高等学園と同じであること。
- ・ 一つの教科に偏らず、「各教科」の目標や内容から就労にアプローチしていくことが重要である。なお、清水高等学園では各教科の時数が適切に位置づけられている。

（基本的な考え方）

- ・ 確実に力が身に付くよう、3年間、同様の内容を指導することとする。
- ・ 生徒の実態や学年進行に合わせて、学習内容は柔軟に対応する。

（授業時数） 令和5年度教育指導計画より

「東エリア特別支援学校高等部（仮称）」1年生 年間総授業時数 1172.5 時間 ※ 清水高等学園と同様

教科等	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業	家庭	外国語	情報	道徳	自立活動	総合的な探求の時間	特別活動
時数	35	17.5	35	17.5	35	35	105	315	35	0	35	35	297.5	35	140

（参考）

「博多高等学園」1年生 年間総授業時数 1170 単位時間

教科等	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業	家庭	外国語	情報	道徳	自立活動	総合的な探求の時間	特別活動
時数	17.5	12	18.5	9.5	22	15	89	520.8	62.5	0	36	18	140.4	90	118.8

（今後の進め方）

- [第1回教育課程検討委員会] ・基本的な考え方について提案 意見集約
- [第2回教育課程検討委員会] ・教育課程検討委員会の意見をもとに、ワーキンググループで検討した学習内容修正案等を提案
- [第3回教育課程検討委員会] ・学習内容最終案の決定

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

国語科		
単元	時数	内容
○オリエンテーション	1	・実態把握テスト(漢字、助詞、ことわざ、4文字熟語、反対語等)
○自己紹介をしよう【聞くこと話すこと】	2	・自己紹介の仕方(文章の構成、伝わりやすい言葉や文章)) ・相手に伝わる話し方(親疎や人数に応じた声の出し方、言葉遣い、視線)
○すてきなあいさつを身につけよう【聞くこと話すこと】	2	・状況に応じたあいさつ(声の大小、言葉遣い、視線) ・お辞儀の仕方(角度)
○メモの上手な取り方【聞くこと話すこと】【書くこと】	3	・聞いた内容の整理(要点、話の中心) ・明確な文章の書き方(要約の仕方) ・確実な伝達方法(伝達確認) ・状況の理解と適切な行動(正確な伝達、要点)
○言葉の遣い方(敬語を使って話をしよう) 【聞くこと話すこと】	3	・友達と目上の人との違い ・敬語の理解(尊敬語、謙譲語、丁寧語) ・状況に応じた言葉の遣い方(親疎や人数に応じた声の出し方、視線)
○実習のお礼状を書こう【書くこと】	4	・文章の構成(感想、お礼、季節のあいさつ、段落) ・正しい漢字の使い方 ・句点(。)、読点(。)、かぎ括弧(「」)などの使い方
○説明書を読んで使えるようになろう【読むこと】	2	・必要な情報の読み取り方(医薬品用途、電子機器や組み立ての説明書等)
○文章を読み取ろう【読むこと】	3	・必要な情報の読み取り方(手紙、本、短文、新聞、広報誌の読み取り) ・読み取った情報の整理(5W1H、要約) ・正確な音読方法(句点読点、漢字の理解) ・登場人物の行動や心情の理解(気持ちの表出、想像性、自分の意見や考え)
○電話の応対ができるようになろう【聞くこと話すこと】	3	・要点のまとめ方 ・第3者への伝達方法 ・相手や目的に応じた言葉遣い
○ローマ字に関心をもとう【読むこと】	2	・ローマ字変換の仕方 ・アルファベットで表す略語 ・外来語や簡単な英単語
○お世話になった人へ思いを伝えよう(年賀状) 【書くこと】	2	・宛名の書き方 ・賀詞の使い方 ・喪中のマナー ・投函方法
○今年の出来事を友達に説明しよう 【聞くこと話すこと】【書くこと】	2	・文章構成の種類(段落、接続詞、主語述語) ・相手に伝わる説明方法(話す内容の順番、要約) ・説明内容の要点のまとめ方(5W1H)
○1年間の目標を考えよう(書初め)【書くこと】	2	・書道の技法(準備の仕方、筆使い、とめ・はね・はらい、片付け方) ・目標設定の意義
○話し言葉とメールの違いを知ろう【聞くこと話すこと】	2	・正確な文章の読み取り方(誤解をまねくメールの内容や話し言葉の伝わり方の違い)
○各種書類を書こう(履歴書、契約書、婚姻届)【書くこと】	2	・書類作成の仕方(書類の種類・履歴書・契約書・招待状・案内状等)
合 計	35	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

社会科		
単元	時数	内容
○オリエンテーション	1	・実態把握テスト(県名と位置、国名と位置、東西南北の理解、簡単な時事)
○学校周辺の地域を知ろう【公共施設の役割と制度】	2	・地域の公共施設や公共物の役割について(学校周辺の散策、学校周辺マップの作成)
○学校のきまりを知ろう【社会参加ときまり】	1	・社会参加に必要な役割と責任について (校則の理解、社会のルール、福岡市のきまり)
○成人としてのきまりを知ろう【社会参加ときまり】	1	・成人としての役割と責任について(18歳成人、憲法、法律、条例、勤労、納税)
○福岡市について調べよう【公共施設の役割と制度】	3	・地域社会の一員としての自覚について (福岡市、区、人口、男女比、祭り、福岡市の歴史と特徴)
○災害について【我が国の国土の自然環境と国民生活】	1	・自然災害に対する地域の防災について (自然災害の種類、災害時の対応、防災意識、ハザードマップ)
○地域施設について調べよう【公共施設の役割と制度】	3	・地域の公共施設の役割と機能について(徒歩圏内の工場、商店、公共施設等)
○主権者教育(模擬選挙)【社会参加ときまり】	1.5	・選挙の仕組みと役割について (18歳選挙権、投票方法と選ぶ基準、市民国民の代表者)
○公共のルールとマナーを知ろう【社会参加ときまり】	1	・公共施設の適切な利用方法(ルールとマナー、役割、利用方法)
○公共施設を知ろう【公共施設の役割と制度】	1	・区役所や市役所の役割 ・一人暮らしをする時に必要な手続き(水道・電気・ガス)
○流通について知ろう【産業と生活】	1	・生産と流通が国民生活に果たす役割(生産者と消費者、物流の流れ、スーパー)
○交通ルールを知ろう【社会参加ときまり】	1	・道路交通法の理解と意義(標識、自転車のルール、交通ルールと違反)
合 計	17.5	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

数学科		
単元	時数	内容
○オリエンテーション	2	・実態把握テスト(計算、時計・時間、金銭)
○1年間のカレンダーを作ろう【測定】	2	・年号、西暦について ・時間の単位(1年、1か月、1週間[曜日])
○スケジュールを立てよう【測定】	3	・スケジュールシートの作成の仕方 ・暦の見方 ・スケジュールの立て方 ・カレンダーやスケジュール帳の使い方
○時間や時刻を身に付けよう【測定】	4	・時間の単位(1年、1か月、1週間、1日、1時間、1分、1秒)について ・時間、時刻の読み取り方 ・12時制と24時制の違い ・何分前後、何時間前後の理解と使い方 ・時間の経過について(何時間経過の理解) ・文章による何分前後、何時間前後、何時間の読み取り
○計算をしよう【数と計算】【変化と関係】	6	・四則計算(加法、減法、乗法、除法) ・日常生活と四則計算の関連 ・割引(%)について ・消費税について ・電卓を使った計算の仕方
○金銭管理を身に付けよう【数と計算】	8	・様々な金種 ・いろいろな金種の組み合わせ方 ・金種の両替 ・お釣りのない支払い方、お釣りのある支払い方 ・こづかい帳(家計簿)のつけ方 ・限られた予算内での支出の仕方
○平面図形を知ろう【図形】	2	・平行や垂直(直角) ・三角定規を利用した作図の仕方 ・正方形、長方形、平行四辺形、ひし形、台形の性質について ・正三角形、直角三角形、二等辺三角形の性質について ・辺や頂点について ・円の性質について
○さまざまな単位を知ろう【測定】	3	・長さ(mm、cm、km)について ・重さ(mg、g、kg、t)について ・体積(ml[cc]、l、kl)について ・温度(℃)について
○計量や測定をしよう【測定】【変化と関係】	3	・長さの測り方(定規、メジャーなど) ・重さの量り方(体重計、はかり) ・水(液体)、粉末の量の量り方(計量カップ、大さじ、小さじ) ・日常生活の中で伴って変わる二つの数量について(体積、重さ、時間、距離等) ・温度の測り方
○交通機関の時刻調べ【データの活用】【変化と関係】	2	・データの収集と活用、比較(目的地までの行程等) ・時刻表の見方(バス、地下鉄、JR等の利用)
合計	35	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

理科		
単元	時数	内容
○オリエンテーション	1	・実態把握テスト
○人の体について知ろう【生命】	3	・人の体のつくりと働き （目・耳・鼻の働きとしくみ、心臓の働きとしくみ、消化や吸収のしくみ、呼吸のしくみ、排泄のしくみ、血液や心臓の働きと循環） ・温度、湿度、照度と健康との関係 ・体温と健康の関係（体の免疫機能、ウイルス感染予防、かびや細菌）
○季節・天気を知ろう【地球・自然】	5.5	・太陽と気温、温度の関係（様々な場所による気温や地面等の温度比較） ・天気の変化について（晴れ、雨、曇り、雪、降水確率、雲の様子や天気の変化との関わり、季節に合わせた服装、夏日・猛暑日・冬日・真冬日） ・雨が降るしくみと災害時の対応や準備について ・雪が降るしくみと積雪時の対応について ・季節の変化と植物の育ち方（季節の草花、発芽、成長、結実、種子）
○空について知ろう【地球・自然】	2	・太陽や月の位置と見え方 ・星の動き方や見え方、光の速さ等
○地域に咲く花や植物を調べよう【地球・自然】	2	・身の回りの植物について ・光合成のしくみ
○日常生活の道具を扱おう【物質・エネルギー】	2	・電気の働きやその利用について （電池の向きと電流の流れ方、発電、蓄電、電気からの様々な変換） ・身の回りの道具のしくみと使い方 （様々な測定の仕方、ねじのしくみ、てこの規則性等）
○身近な生物について調べよう【生命】	2	・生物とそれを取り巻く自然環境の関係
合 計	17.5	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

音楽科		
単元	時数	内容
○オリエンテーション	1	・音楽の授業の受け方
○校歌を歌おう【歌唱】	4	・正しい姿勢と呼吸法
○ハンドクラッピングをしよう【器楽、表現】	3	・拍の流れを感じ、楽曲に合わせた表現の仕方
○混成二部合唱をしよう【歌唱】	6	・正しい姿勢と呼吸法 ・お互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能
○リズムアンサンブルをしよう【器楽】	3	・多様な楽器の音色と演奏の仕方
○自分が好きな音楽を紹介しよう【鑑賞】	3	・様々な音楽の特徴や良さについて
○楽器を演奏しよう【器楽】	3	・様々な楽器とその演奏の仕方 ・曲の速度やリズム、曲想に合わせた表現
○音楽鑑賞会【鑑賞】	3	・様々な音楽の特徴や良さについて ・音楽の背景となる文化や歴史
○日本の伝統音楽にふれよう【器楽】	3	・伝統的な楽器の音色と演奏の仕方
○手話を使って表現しよう【表現】	3	・曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能
○卒業の歌を歌おう【歌唱】	3	・心を込めて歌う大切さ ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能
合 計	35	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

美術科		
単元		内容
○オリエンテーション【表現】【鑑賞】	4	・生活でよく使う「色」の名称や色相に関する知識 ・学校のピクトグラムを活用したサインシステムについて ・生活の中の造形的なよさ、表現の意図や工夫について
○自画像を描こう【表現】【鑑賞】	4	・対象物(自分の顔)を見つめ感じ取ったことの表現 ・材料や用具の特性(水彩絵の具や筆など)の生かし方 ・作品の造形的なよさや美しさの見方や感じ方を広げる
○タブレットでの静物画【表現】【鑑賞】	3	・対象物(植物や果物)を見つめ感じ取ったことの表現 ・材料や用具の特性(タブレットなどのデジタル機器)の生かし方 ・作品の造形的なよさや美しさの見方や感じ方を広げる
○地域にある形を見つけよう【表現】【鑑賞】	3	・対象物(地域の自然や建造物)の造形的なよさや美しさなどについて ・材料や用具の特性(デジタルカメラなど)の生かし方
○紙粘土での造形【表現】【鑑賞】	4	・伝えたい目的を基にした主題の設定の仕方 ・創造的な構成の工夫と表現の仕方 ・作品の造形的なよさや美しさの見方や感じ方を広げる
○ポスター作り【表現】【鑑賞】	4	・伝えたい目的や機能などを基にした表現の仕方 ・作品の造形的なよさや美しさの見方や感じ方を広げる
○現場実習を描く(働いている様子を描く)【表現】【鑑賞】	4	・対象物(働く様子)を見つめ感じ取ったことの表現 ・材料や用具の特性(水彩絵の具や筆など)の生かし方 ・作品の造形的なよさや美しさの見方や感じ方を広げる
○「働くこと」をテーマに写真を撮影する【表現】【鑑賞】	3	・対象物(働く様子)を見つめ感じ取ったことの表現 ・材料や用具の特性(デジタルカメラなど)の生かし方 ・作品の造形的なよさや美しさの見方や感じ方を広げる
○卒業式の飾り作り【表現】【鑑賞】	4	・伝えたい目的や機能などを基にした表現の仕方 ・作品の造形的なよさや美しさの見方や感じ方を広げる
○作品鑑賞会【鑑賞】	2	・創作活動の作品から、よさや美しさの見方や感じ方を広げる
合 計	35	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

保健体育科		
単元	時数	内容
○集団行動【体づくり運動】	1	・集団行動の意義 ・仲間と協力することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○新体カテスト【体づくり運動】	3	・体の動きを高める方法 ・自己の体力の理解① ・仲間と協力することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○ネット型球技【球技】	3	・球技(ネット型)の特性と技能について ・仲間と協力することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○ダンス【ダンス】	3	・ダンスの特性と技能について ・表現の仕方について ・仲間と交流することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○ターゲット型球技【球技】	3	・球技(ターゲット型)の特性と技能について ・仲間と協力することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○スポーツ大会【体づくり運動】【体育理論】	4	・運動やスポーツの意義 ・運動やスポーツとの多様な関わり方 ・仲間と協力することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○簡易的協力競技【体づくり運動】	3	・体ほぐしの運動の方法 ・仲間と協力することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○ゴール型球技【球技】	6	・球技(ゴール型)の特性と技能について ・仲間と協力することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○持久走記録会【陸上競技】	3	・陸上競技(長距離走)の特性と技能について ・自己の体力の理解② ・仲間と協力することの意義 ・場や用具の安全な使い方
○けがや病気の時の対応【保健】	1	・傷害の防止、疾病の予防方法について ・健康で安全な生活に必要な技能について
○性教育【保健】	5	・思春期における心身の発育、発達 ・異性の心と体の違い ・性に関する情報の対処、適切な態度、行動について ・健康で安全な生活に必要な技能
合計	35	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

職業科		
単元	時数	内容
○オリエンテーション	1	・職業生活について
○キャリアパスポート【職業生活】	3	・自己理解(障がい理解、自分の良さや強み、苦手なこと) ・将来の生き方 ・自分の成長や課題について
○なぜ働くのか【職業生活】	3	・働く意義 ・働く喜びや仕事のやりがい
○働くために必要なこと【職業生活】	2	・働く上で求められる事柄 ・職業生活に係る技能について
○どのような仕事があるのか【職業生活】	2	・様々な職種や職場について ・いろいろな働き方について
○心身の健康管理と余暇の過ごし方【職業生活】	1	・健康を守る方法 ・休日の有効な生かし方
○職場のルールについて【職業生活】	1	・労働条件について(勤務時間、休みのとり方、遅刻や早退するときの連絡の仕方)
○現場実習【産業現場等における実習】	4	・現場実習の意義 ・実習先のいろいろなきまりや責任について ・通勤方法について ・現場実習の成長や課題について
○働く現場を見学しよう【産業現場等における実習】	9	・様々な職種や職場について ・働くことの大切さ ・社会生活の実際について ・職場でのルールやマナー
○福祉サービスを知ろう【職業生活】	3	・障がい福祉について ・福岡市の障がい福祉について ・障がい者年金について
○雇用と給料について知ろう【職業生活】	2	・雇用契約の種類 ・労働と報酬の関係について
○面接練習【職業生活】	4	・雇用に向けた準備について ・面接に向けた心構え ・自己理解(障がい理解、自分の良さや強み・苦手なこと)
合 計	35	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

家庭科		
単元	時数	内容
○オリエンテーション	2	・食品衛生について ・調理用具等の安全な使い方や衛生について ・調理室の使い方 ・調理器具の使い方 ・調理台と器具の洗浄の仕方
○バランスのとれた食事を考えよう【衣食住の生活】	2	・食事が果たす役割(食品群、栄養素) ・健康によい食習慣について
○自分で調理ができるようになろう【衣食住の生活】	10	・日常食の調理方法 ・食品の選択や様々な調理の仕方 ・調理計画の考え方 ・食品を無駄にせず、栄養バランスのとれた調理計画の立て方
○ごみの捨て方を知ろう【衣食住の生活】	2	・ごみ処理の仕方(可燃ごみ、不燃ごみ、リサイクル)
○家庭生活での役割を考えよう【家族・家庭生活】	1	・家庭生活での役割 ・家族や地域の人々とのよりよい関わり方
○日常生活に関することを身につけよう 【衣食住の生活】	4	・住空間の安全や快適さについて(換気、採光、照明、身の回りの整理等) ・目的に応じた縫い方や用具の安全な取り扱い方 ・衣服の手入れの仕方(洗濯の仕方、アイロンのかけ方、保管の仕方) ・衣服の選択について(TPOや季節に合わせた服装)
○生活費について知ろう【消費生活・環境】	2	・生活費について ・計画的な消費 ・金銭管理(預貯金) ・税金の種類
○掃除をしよう【衣食住の生活】	2	・住空間の安全や快適さについて (家[居室、風呂、トイレ、台所等]の掃除や冷暖房器具の手入れの仕方)
○健康管理と余暇の過ごし方を考えよう【家族・家庭生活】	2	・健康管理や余暇の過ごし方(規則正しい生活の大切さ、余暇活動と働く意欲)
○先生を招待しよう【衣食住の生活】	4	・身近な人とのよりよい関わり方の理解と工夫の仕方
○消費生活に関わることを学ぼう(消費者教育) 【消費生活・環境】	4	・いろいろな購入方法や支払方法の特徴 ・消費者の基本的な権利と責任 ・自立した消費者としての責任ある消費行動 ・売買契約の仕組みや消費者被害の背景とその対応について
合 計	35	

東エリア特別支援学校高等部(仮称)学習内容

情報科		
単元	時数	内容
○オリエンテーション【情報社会の問題解決】	2	・タブレットやコンピュータ等の基本的な用途、操作方法
○タブレットやコンピュータの機能と活用について知ろう【情報社会の問題解決】	2	・身近にある情報やメディアの特性 ・タブレットやコンピュータ等の用途、操作方法、活用方法
○文書作成ソフトの基本的な使い方を知ろう 【コミュニケーションと情報デザイン】	6	・文書作成ソフトを用いた情報デザインの考え方や方法 ・文書作成ソフトを用いた表現方法
○情報モラルについて学ぼう【情報社会の問題解決】	6	・情報に関する身近な法規や制度 ・情報セキュリティの重要性 ・情報モラルやマナーについて ・情報社会において個人の果たす役割や責任
○インターネット検索をしよう 【情報社会の問題解決】	4	・タブレットやコンピュータ等の操作方法、活用方法 ・目的や状況に応じた身近にある情報や情報技術の活用
○電子入力をしよう 【情報通信ネットワークとデータの活用】	2	・身近なデータを管理する方法 ・データを活用する方法
○写真や画像を加工しよう 【コミュニケーションと情報デザイン】	2	・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法 ・効果的なコミュニケーションを行うための表現方法
○表計算ソフトの基本的な使い方を知ろう 【情報通信ネットワークとデータの活用】	5	・表計算ソフトを用いた身近なデータを管理する方法 ・表計算ソフトを用いたデータの活用方法
○プレゼンテーションソフトの基本的な使い方を知ろう 【コミュニケーションと情報デザイン】	6	・プレゼンテーションソフトを用いた情報デザインの考え方や方法 ・プレゼンテーションソフトを用いた表現方法
合 計	35	